

ひげとほーき

いらぬからかへす」といひました

あるひくらまのやまからきよーと

ぢーさんしかたがないから「そんならそ

のまらへほーきをうりにでてきた

りちんはいくらだ」ときよますと「ぢっせ

おぢーさんがありました。

んだ」といふから「それは

ひげをそろーとおもって

たかいごせんにまけるそ

あるところやへはいりました。

れでなければもとのとー

た。

りにひげをはやしてお

ところのていし。もさっ

け」といひました。

ぼんかいました。そこで、ひ

げをそってしまつてから

「ほーきはいくらだ」と

いひますからくらまのぢ

ーさんは「にぢつせんだ」といひました。す

るとところのていし。は「すこしたかい

からぢっせんにまけるそれではなれば



鴨をとる法

長野 飯島八千溪

やまとの翁と云ふお方から、鳥をとる法を教へて
頂いて、大層面白うりました。